

わかやま母親通信

第96号 2022年7月14日発行

発行 和歌山県母親大会連絡会 事務局 和歌山市小松原通3の20 和歌山県教育会館内
和教組 TEL073-423-2261 FAX073-436-3243 母連メール:w_haharen@wkn.or.jp

2022.6.19(日) 10:00~15:50 於: プラザホープ和歌山 HP 和歌山県母親大会

第66回和歌山県母親大会(オンライン併用)開催②

参議院選挙投票日の2日前に、安倍晋三元首相が「銃撃され死亡」のニュースが全国を駆け巡った。「何が起きているのだろうか、何か良からぬ事態が動いているのだろうか」と、まず不安と恐怖が心を支配した。生前の安倍氏の政治手法にも諸政策にも、一つとして同意できるものはなかったし、日本を、改憲・軍拡の方向に向かわせようと精力的に活動していた最近の動きにも全く同調はできないが、それでも、その生命が暴力的に奪われることは、決してあってはならないことである。ご家族の悲しみの深さを想いつつ、ご冥福を祈りたい。



自由と平等、生命と人権の尊重、基本的人権、民主主義、平和、持続可能な未来…といった言葉が走馬灯のように脳裏を巡る。気候変動への不安が募る中、新型コロナパンデミック、ロシアのウクライナ侵略と世界を揺るがす事態が起こり、世界も日本国内も、未来への針路を見失い迷い道に入り込みそうな危うさと怖さを感じずにはいられない。

だが、母親運動を進めてきた私たちの羅針盤は、揺るがずいつも身近に存在している。

「生命を生まだす母親は、生命を育て、生命を守ることをのぞみます」

このスローガンは、今一層輝きを増して、私たちが進む道を照らしてくれている。

今年の県大会は、5つの分科会でしっかり話し合うことができた。その申し合わせ事項に基づいて、全県各地域で地道に要求運動を続け広げていくとともに、日本の針路にも世界の針路にも、「平和と持続可能な未来の選択を！」と声を上げ続けよう。

明日へ

今年の母親大会はオンラインを併用したことで、遠方の方や視覚に障害のある方が気軽にアクセスできたこともあり、コロナ禍にあっても237名の参加がありました。全体会講演、和田武さんの気候変動の話は深刻でしたが、希望もありました。火力発電が有効に使われていないことや、日本のCO2排出削減の対策が諸外国に比べて遅れているという実態もデータで示されました。住民がソーラー発電に反対する運動だけでなく、自らがエネルギー問題を学び、自治活動として再生エネルギー活用に取り組んでいる様子も紹介されました。私たちが子ども達に残したいのは安心して安全に暮らせる社会であり、それを目指すための運動をしていく基礎やヒントがたくさんありました。母親大会には文科省の言う「集団的な深い学び」があり、学校教育で大切にしたい学びの姿があると思いました。 M. I.

分科会の申し合わせ事項をもとに、各地で要求運動を！

第1分科会 「わが青春つきるともー伊藤千代子」が生きた戦前の時代と今

- 一 平和を守るため、できる事から始めましょう。
- 一 憲法が生まれた歴史を風化させないために、学び、知らせ、声を上げ続けましょう。
- 一 平和憲法を守るために、自分の意見を持ち選挙に行きましょう。
- 一 命を懸けて戦争するより、平和を守りましょう。



(感想) 今私たちは本当に自由が守られているか。「治安維持法」がなぜつくられたのか。国民を監視し、戦争を進めるためである。こんな戦前の時代に絶対戻したくはない。だから、*だまされない人間になりたい。* 私たちが選ぶ候補者を多く当選させたい。* 住みよい世の中を作るのは、女性が立ち上がらないといけないと切に思う。

(感想) 先に映像を見せてもらったので、講師のお話の内容がよく分かった。レジメも分かりやすかった。政府は、2015年に安保法制を成立させ、憲法違反のことを「堂々と」やって軍事大国につき進んでいる。生まれた時から平和で当たり前だと思ってきたが、今一番怖いことは、憲法9条を変えて「戦争をできる国」にされることだ。でも、千代子の時代とは違う。選挙で街頭宣伝で9条の大切さを訴え、今後も平和を守っていきたいと思った。

第2分科会 子どもの健やかな育ちを願ってーそれぞれの立場で

- 一 家庭、学校、学童保育、ボランティアが互いに知り合うことを大事に連携し、子ども一人一人を見守り育てていきましょう。
- 一 各自治体に、子どもたちの豊かな育ちを保障するための要望をあげていきましょう。



(感想) 学童や保育所、保護者、教師と様々な立場から、子どもたちの現状について意見が出された。どのお話も、うん、うんと頷けることが多く、コロナ禍での対応などそれぞれ苦労されていることが分かった。今子どもたちが置かれている環境は厳しく、生きづらいんだなあ、大変な思いをして学校に来ているんだなあという気持ちで、子どもたちを迎えたいと感じた。助言者もおっしゃった同調圧力がすごく、インクルーシブ(みんな一緒)するために、何とかしたいな~と思う。

(感想) 子どもが4年生まで学童保育にお世話になりました。自分の気持ちを表に出せない性格ですが、本当に細かいところまで見てくださり、時には内に秘めていた辛い気持ちにも寄り添ってくださいました。私たち親にも親身になってくださいました。子どもにとっても、第2のおうちのような存在で、引っ込み思案な娘が楽しく小学校生活を過ごすことができたのも学童の先生方のおかげだったと感謝しています。今日は学童の先生方のご苦労されているお話や子どもたちへの想い等を知ることができ、大変勉強になりました。

第3分科会 命が守られる医療とは一

- 一 コロナ禍の医療状況から学んで、ベッド数削減を止めて余裕を持って働ける人員の確保を求めましょう。
- 一 患者負担のこれ以上の負担をなくし、安心して受けられる医療を求めていきましょう。
- 一 安心して地域で出産できる医療体制をつくっていくよう求めましょう。
- 一 医師、特に産科医、小児科医を増やすよう求めていきましょう。
- 一 社会保障充実の運動を、あきらめずに続けていきましょう。



(感想) オミクロン株の蔓延では、自宅とホテル療養が中心だと知りびっくりしました。この間医療に従事する人たちの大変さがよくわかりました。有田市の産科問題について詳しく知り、粘り強く大変な運動をして来たのだと思いました。出産という命に関わる問題を、地域住民と手を結び運動を進めた

結果、やっと産婦人科医が来てくれた。そして、その先生が自費を出して助産師を育てていく奨学金制度を作ろうとしているというのもすごいなと思いました。

(感想) 医療が政治と深く関わっていることを、コロナが起きて医療崩壊を目の当たりにして思い知った。なぜPCRセンターを国主導でつくらないのか、病院、医師、看護師がこんなに減っているのか、国民の命に直結することにもっと敏感にならなければと痛切に思う。

第4分科会 女性と人権について語ろう

- 一 家族間の互いの人権を尊重した平等な関係づくりに努力しましょう。
- 一 身近にある不平等な現状、不合理、不条理な事実を見過ごさないで、言葉で指摘し、改善していきましょう。
- 一 一人の切実な要求や願いをみんなの要求にして、幅広く要求運動をしていきましょう。
- 一 「女性差別撤廃条約選択議定書」批准の早期実現に向けて、県から国へ要望をあげさせましょう。



(感想) 会場の参加者全員にマイクが回り、発言できてよかったです。みなさんの発言から男女平等でない現実があり、ジェンダー平等の遅れた日本です。女性の私たちがもっともっと声を上げなければ、きっと何も変わらないと思います。今回のような話し合いの機会を増やして、行動していかなければと思います。政治を変えなければ変わらない。その通りだと思いました。

(感想) むくげの会の助言者の方の問題提起がわかりやすく、(資料をもとに)話し合いにのぞめました。参加者全員が、今感じていることや活動していることの発言が聞け、とても良い機会になりました。ありがとうございました。

第5分科会 SDGsについて学び、「できる」を考えよう

- 一 平和と連帯を大切にし、SDGsについて学び、私たちの暮らしの中で、まずできることから行動しましょう。
- 一 地球温暖化の深刻な状況をしっかり学び、知らせ、運動を広げましょう。
- 一 地域の自然エネルギーによる発電については、住民合意を大切にしながら、営利主義を排して推進していきましょう。

(感想) エシカルという言葉は初めて知りました。自分以外の人たちや環境に思いを馳せることが大切ですね。SDGsのどの項目をとっても、みんながにこやかに生きていくために必要不可欠なことばかりですよ。でも、それらが実現されていない今の世の中。気づいて実践できることは、身近な人を誘って声を上げることが大切だと実感しました。

(感想) グループ討議がよかった。みなさんと話し合うことで触発されました。地域でも取り組めたらと考えます。気になりつつ、真剣に向き合っていない課題だったので、今日は向き合う良いきっかけになりました。

(感想) SDGs…考えても考えても範囲が広く難しいと感じていましたが、ワークをするうちに、どれもつながりがあって1つの世界を目指していくものだと気づきました。自分の身の回りのできることから、行動していきたいと思います。



第67回日本母親大会 in 埼玉・群馬 2022. 10. 15(土)~16(日)

15日(土)はさいたま市内を中心に、3つの問題別集会(オンライン配信)と近都県参加中心の6つの分科会・特別企画・見学分科会があります。全国に配信される3つの問題別集会は、①今、平和を考える ②ジェンダー平等の実現 ③気候正義を求める です。③は県母親大会の講演テーマと重なりますので、ぜひ視聴したい方は個人やグループでお願いし、各郡市で設営するサテライト会場は①または②とすることになります。県母連も、プラザホープに①と②を設営する予定です。参加しやすい方法を選択して申し込みをお願いします。

16日(日)はGメッセ群馬を会場とした全体会が、オンライン配信されます。



記念講演は、毎年希望が最も多かった田中優子法政大学前総長の招へいが今年実現し、「自由を生きぬく実践知」と題したお話が企画されています。個人・グループでの視聴を申し込みますし、各郡市でサテライト会場も設営されます。県母連も和歌山市ビッグ愛に会場を準備する予定です。
*詳しくは、各郡市母連事務局や各団体の責任者にお問い合わせください。案内ちらしもお覧ください。
また、県母連のHPにアクセスしてみてください。